

——あなたは、どう考えますか？

米軍の実弾で日本一の富士山を汚すな！

——移転先の県知事全員が反対

◎沖縄の米海兵隊キャンプ・ハンセンでの県道一〇四号線越え実弾砲撃演習を 本土の五ヶ所(矢  
臼別：北海道、王城寺原：宮城県、東富士：静岡県、北富士：山梨県、日出生台：大分県)に  
分散移転することを、日米合意で決めた という。

◎実弾演習は、美しい自然を破壊し、県民の生命を脅かし、一つ間違えば大惨事を引き起こす。  
こんな重大なことを、地元の住民はおろか、県知事にも相談せず、日米政府間で勝手に決  
めて押しつけようとしても、「ハイ、そうですね」と言うわけにはいかない。五県の知事は揃  
って受け入れ反対を表明した。地方自治体の長であり、県民の安全を第一とすべき県知事とし  
て当然のことである。

◎米軍の実弾演習で、沖縄の県道は封鎖され、山はえぐられ、緑の林は赤茶けた肌をさらし、  
耳を押さえて脅えている子供の写真を見た。私たち日本国民は、これ以上、沖縄を犠牲にしな  
いことを大前提にして対処しよう。

◎その上で、本土の移転先五ヶ所の県知事が揃って受け入れ反対を表明したこととは、米軍の実  
弾演習場は日本には必要ない、ということを意味する。迷惑千万ということである。従って、  
日米政府は、日本本土への移転ではなく、広大な米国に移転することで合意してもらいたい。  
米軍は、思いやり予算までつけてくれる居心地良い日本に居座りたいかも知れないが、この辺  
でもう お帰り願いたい。これが、私たちの正直な気持ちだ。

◎冷戦が終結し、米・ソの敵対関係が解消した今日、日米安保に疑問を持つ日 本国民が急増し  
ているという。今こそ、徹底的に議論し、軍事力によらない  
新しい平和共存の秩序を作りあげるチャンスである。

◎私たち静岡県民は、日本一の富士山を、米軍の実弾で汚すことを許してはならない！

一九九六年九月八日(日)・第三五五回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会

事務局 浜松市紺屋町三〇一の十五